

令和7年度第2回小城市男女共同参画審議会 議事要旨

- 開催日時 : 令和8年1月26日(月) 13時30分 ~ 16時05分
- 開催場所 : 小城市役所 2-3、2-4会議室
- 出席委員 : 吉岡委員(会長)、小林委員(副会長)、大串委員、末次委員、
福成委員、井手委員、上野委員、山本委員、山口委員、
船津委員、古賀委員、下村委員、野田委員
(欠席委員: 圓城寺委員、江島委員)
- 事務局 : (企画政策課)大坪課長、田中副課長、本村係長、川谷
- 傍聴者 : なし

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 議事

(1) 第4次小城市男女共同参画プランの策定について

- ・ 第4次小城市男女共同参画プランの策定について【資料1-1】
- ・ 第3次小城市男女共同参画プラン体系一覧【資料1-2】
- ・ 第4次小城市男女共同参画プラン策定スケジュール(案)【資料1-3】

(2) 市民・中学生・事業所『男女共同参画に関する意識調査』について

- ・ 『男女共同参画に関する意識調査』の概要(案)【資料2】

・市民アンケート [回答者の属性][結婚や家庭生活] 【資料3-1】

(会長)

設問3と設問6の選択肢が「事実婚を含む」と「事実婚を含みます」と表記されているため、統一した方が良いと思います。

(事務局)

表記を統一します。

(委員D)

設問7について、企業の経営者にあたるような人たちは、どの選択肢で回答することになりますか。

(事務局)

選択肢(2)「自由業・自営業・家業」に回答してもらうことになるかと考えております。

(委員F)

もし会社の役員等の意識を拾いたいのであれば、「会社役員・団体役員」という選択肢を作った方が良いと思います。

(委員C)

役員であるかどうか分けて回答してもらうことに影響があるのは、市民アンケート[働くことについて]だと考えます。この項目が個人の意識が経営者としての意識なのかというところを分析するのであれば、役員であるかどうかを分けて回答してもらった方が良いと考えます。

(会長)

選択肢について、別項目を立てるということでよろしいですか。(異議無し)

(委員B)

設問8について、内閣府の調査では、回答した理由を聞いていたと思います。前回との比較はできないですが、設問8の後に、回答した理由を聞く設問を新設するのはいかがでしょうか。

(事務局)

内閣府の調査を確認し、設問を新設するか検討させていただきます。

・市民アンケート〔教育・子育て・介護〕〔働くこと〕【資料3-1】

(委員 A)

設問 13 において、「育児休業」と「育児休暇」という文言が混在しています。厚生労働省の調査は「育児休業」です。

(事務局)

確認します。

(委員 E)

設問 15、16 は、結婚していたり、子どもがいる前提での選択肢となっています。結婚しない女性や男性もいらっしゃいますので、そのような方が回答しやすい選択肢があった方が良いと考えます。

(事務局)

他の調査等も参考にしながら、検討させていただければと思います。

(委員 C)

設問 15、16 の選択肢 (1) の「子どもができて」という聞き方にアンコンシャスバイアスを感じます。子どもができるという前提での聞き方がどうかなと思います。むしろ「生涯ワーク・ライフ・バランスを保ちながら、ずっと仕事をする方がよい」等といった聞き方にしてもらった方が、子どもがいるいないに関わらないので良いかと思いました。

また、設問 14 の選択肢 (6) 「休む必要がないから」について、本人が「介護する必要がない」と思っているのか、「介護をするのは女性だと思っているから」という形で聞いた方が、より分析できるのではないのでしょうか。

加えて、設問 18 の選択肢 (13) 「社会制度や施設等」について、社会制度と施設を別々の選択肢にした方が良いかと思いました。ただし別々の選択肢にすると、選択肢が多くなり、回答が大変になるとも同時に思いました。

(事務局)

設問 15、16 の選択肢について、子どもができたという聞き方をしていたのは、大きなターニングポイントであるからです。

(会長)

設問 15、16 の選択肢について、一般論として聞くところではあるので、「子どもができて」という聞き方をあえてしたいという気持ちはあります。

(事務局)

この議論は、「女性活躍に向けた基本目標」を議論するための話であります。育児休業の制度も以前は国や市町が事業所を含めて整えていきたいと思いますという部分が強かったため、そのような聞き方になっていると思います。ただ社会は変わってきていますので、女性の活躍をどう考えていくかというのはあるかと思っております。

(委員 A)

世の中が変わっているとはいえ、男性だけではなく、女性の意識の中でも「女性が休めば良い」とか「女性がすれば良い」という意識が残っています。佐賀県のアンケートでは「結婚や出産に関わらず」という聞き方にしています。「子どもや介護＝女性」という考え方がどう変わっているのかが、男女共同参画が進んでいるかを確認するための目的でアンケートを実施するのであれば、大事な要素なのではないかと考えます。

回答者がいま何を考えているのかを知ることだけではなく、今後どのように施策に落とし込んでいくかという視点を持ってアンケートをされた方が良いと思います。

(事務局)

設問 15、16 の聞き方については、検討させていただければと思います。

・市民アンケート [夫婦や恋人同士などの暴力][男女共同参画社会]

【資料3-1】

(委員 B)

設問 19 の前に、DVを現在受けているのか、過去5年以内に受けているのか、5年以上前に受けていたが現在は受けていない、分からない、分かっているが答えたくない等の設問があっても良いのではないのでしょうか。その聞き方をし、DVを受けたことがある等と回答された方が、設問 19 に遷移して、どのようなDVをされたのか、したのかを聞いていくのはいかがでしょうか。

また、身体的暴力と精神的暴力があるか等で選択肢を少なくできないでしょうか。

加えて、何の暴力かを分かりやすくするために、選択肢中に「身体的暴力」「性的暴力」「精神的暴力」「社会的暴力」等といった表記にしてもらって、選択肢をまとめていただくのはいかがでしょうか。

(委員 A)

DVはされていて気付いていない人が多いということが課題としてありまして、設問 19 の選択肢を1つ1つ読むことで、「DVを受けていることに該当するかもしれない」と気づいてもらうという意味であれば、選択肢が多いても良いかとは思いました。選択肢をまとめてしまうと、端的なところしか読まなくなると思いますので、このままでも良いかと思えます。

(会長)

現在と過去、DVを受けたかしたかについて、今回から回答方法として採用するWEB フォームの設定を鑑みながら検討していくということによろしいでしょうか。(異議無し)

(委員 B)

設問 20 の選択肢 (9) 「警察に通報した」については、「警察に通報・相談した」にした方が良いと思いました。

(事務局)

選択肢文言を修正したいと思います。

(委員 A)

設問 23 について、選択肢「フェムケア」「プレコンセプションケア」の語尾に簡単な説明を加えても良いのではないかと考えます。

(事務局)

選択肢「フェムケア」「プレコンセプションケア」の語尾に括弧書きで簡単な説明を加えていければと思います。

(会長)

設問 25 の選択肢(6)「男女共同参画を推進する団体や女性リーダーの育成を支援する」について、社会の中には企業も含めて色々な団体があります。そこで女性のリーダーが少ないということが課題であり、男女共同参画を推進している団体だけが女性のリーダー育成を支援しているとは限らないため、前回アンケートの選択肢同様、「各種団体などの女性リーダーを養成する」に戻した方が、設問の趣旨に合うと思うので良いと思います。

(事務局)

設問 25 の選択肢(6)については、前回アンケート同様の記載にしたいと思います。

(委員 A)

設問 25 の選択肢(4)「男性の家事能力を高めるような講座を行う」について、「男性の家事能力」もそうですが、ぜひ「男性の育児参画」という言葉を使ってもらえないでしょうか。佐賀県が両親学級でパパママどちらも来てもらっていても、沐浴体験等を男性にしてもらう取り組みをしています。そこで男性に育児の経験をしてもらい、やる気を出してもらうような狙いでやっております。ぜひそのような取り組みを市町でもやっていただけると女性が家事・育児するものということから脱却する一つの手法になると思います。

(事務局)

分かりました。

(副会長)

設問 25 の選択肢 (16) 「家族観などについて幅広い世代で意見交換する」が新設されていますが、意図は何でしょうか。「家族観」という言葉は抽象度が高く、難しいと思います。「家族観」の中で、市がどのようなことを知りたいと思っているのかを具体的に書いた方が良いと思います。

(事務局)

小城市が総合計画の中で若者施策が追加になりました。吉岡会長との事前打合せの中で、若い方との意見交換を入れていきたいという話をしており、市民さんが世代間の意見交換をどう思っているのかを聞きたいという意図で、この選択肢追加をさせてもらっております。

アンケート結果では、アンコンシャスバイアスの意識について、ご年配だと賛成、若い世代だと反対といった傾向があります。男女共同参画の施策をしていくには、世代間が混ざって意見交換していくことが有効と考え、この選択肢を追加させてもらっております。頂いたご意見を踏まえて表現を少し検討させていただければと思います。

・中学生アンケート [属性、男女共同参画社会、生き方、家庭]

【資料 3 - 2】

(委員 C)

設問 11 の選択肢 (6) 「勉強」について、「進路」という文言が書かれていません。「勉強」と「進路」をイコールと考え、「勉強・進路」にしてはいかがでしょうか。

(事務局)

選択肢 (6) について「勉強・進路」に修正させていただきます。

(委員 B)

設問 17 の選択肢について、「すでに相談したことがある」といった選択肢も加えても良いのではないのでしょうか。

(事務局)

「すでに相談したことがある」という選択肢を追加したいと思います。

(委員 B)

「すでに相談したことがある」という回答をされた方は、誰に相談したのかを確認した方が良くと思います。

(事務局)

誰に相談したことがあるのかを確認する設問を新設したいと思います。

・事業所アンケート [回答事業所の属性][女性の活躍推進] 【資料3-3】

(副会長)

設問8について、選択肢(2)「可能であれば増やしたいが、難しい(対象となる従業員がいないなど)」は必要でしょうか。例えば医療施設にも調査されるとのことですので、既に多くの女性の管理職がいるので、これ以上増やしたいと思わないといった回答になる可能性もあると思います。これは、女性は管理職が向かないといったような、ネガティブな意見ではなくて、十分女性の管理職がいるから良いというものだと考えます。

選択肢を「増やしたい」「増やしたいと思わない」にして、そのように答えられた理由を答えてもらう設問を新設した方が良いのではないのでしょうか。

(委員 G)

保育園・幼稚園は職員の多くが女性であるので、このような聞き方をされるアンケートはいつもどう答えて良いのか迷うことがよくあります。何か良い聞き方はないだろうかと思えます。設問の趣旨が分かるような聞き方になると良いと思います。

(委員 C)

「増やしたい」「増やしたいと思わない」というのは意思であり、「該当者がいない」というのは意思とは異なります。「その他」という選択肢を加えて、例えば、該当者がいない、スキルがある職員がいない等といった、それに対しての理由を記載してもらう形にしてはいかがでしょうか。

(会長)

選択肢を「増やしたい」「増やしたいと思わない」「その他」にして、「その他」に理由を書いていただくような形はいかがでしょうか。(異議無し)

(事務局)

選択肢を「増やしたい」「増やしたいと思わない」「その他」にしたいと思っています。

・事業所アンケート [仕事と育児・介護との両立支援]

[仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス)] 【資料3-3】

(副会長)

設問 17 の選択肢 (6) 「子どもや家族の看護休暇制度」について、「看護・介護休暇制度」が良いのではないのでしょうか。

(事務局)

文言修正を検討させていただきます。

(会長)

設問 19 について、前回アンケートの選択肢にもある「ワーク・ライフ・バランスに関して初めて知った」は復活させた方が良いと思いました。

(事務局)

選択肢「ワーク・ライフ・バランスに関して初めて知った」を復活させたいと思います。

(副会長)

設問 12 の選択肢 (5) 「女性に対する教育・研修機会の拡大」について、「女性に対する教育・研修機会の拡大」というのは、男女問わず、女性に対する教育・研修機会の拡大と捉えるものでしょうか。男女に対してなのか、女性に対してなのかの判別が難しいように感じます。

(委員 A)

佐賀県は「女性に対して教育・研修機会の拡大」としています。

(事務局)

小城市も「女性に対して」という意味合いで、選択肢を作っておりましたが、選択肢文言を変えるか、男性向け研修を拡大する等の選択肢を増やすかは検討させていただきます。

(事務局)

市民・中学生・事業所アンケートにつきまして、ご意見を頂いて修正すべき点等は、吉岡会長と協議をさせていただきながら、修正し、完成させ、発送をしていく流れで進めさせていただければと思っておりますが、いかがでしょうか。(異議無し)

完成したアンケートについては議事録(要旨)送付の際に、委員の皆さまにも共有させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

もし何かお気づきの点があれば、1月28日(水)までに個別で企画政策課に申し出いただければと思ひます。

4. 閉会

【配布資料】

- | | |
|----------|----------------------------|
| (資料 1-1) | 第4次小城市男女共同参画プランの策定について |
| (資料 1-2) | 第3次小城市男女共同参画プラン体系一覧 |
| (資料 1-3) | 第4次小城市男女共同参画プラン策定スケジュール(案) |
| (資料 2) | 『男女共同参画に関する意識調査』の概要(案) |
| (資料 3-1) | 令和7年度市民アンケート(案) |
| (資料 3-2) | 令和7年度中学生アンケート(案) |
| (資料 3-3) | 令和7年度事業所アンケート(案) |
| (補足資料) | 小城市男女共同参画審議会委員名簿 |